つむぎサロン

始めたきっかけ

普段は、介護に携わる人たちが集い、情報交換や息抜きをする場であるケアラーズカフェを実施しています。夏休みにイベントを中心にした子どもたちの居場所を作りたい、夏休みの宿題をみんなでできるような機会を作りたい、という思いで「つむぎフェス」を実施。

相談内容

- 活動の周知、広報
- 活動資金調達
- 当日運営を一緒にやってくれる人の人材確保
- 実施していく中での困り事の相談

おこなった伴走支援

イベントを実施するにあたり、多くの賛同者・協力者がいるので、その人たちを巻き込みながら実施をしていく方法を提案。
運営ボランティアについては、地元大学のボランティアサークルを紹介。
資金調達については、募金箱の設置やチラシの作成を提案。

つむぎサロンさんからのコメント

アドバイスがとても細かくためになりました。
利用できる場所の情報もあり、こちらの体制が整えば実施できるところまでアドバイスいただけました。
感謝しております。

公共施設なので、物品の販売は NG などの制約があり売り上げをたてられない。活動資金を確保していきたいけど、どうすればいい？

募金箱を設置してみては？イベントの参加費としては受け取れないけど、子どもがイベントに参加するので、参加費の代わりに寄付をしてくれる親御さんがいると思う。団体への寄付金として受けるのはどうかな。

お手伝いしてくれる人はどうやったら増やせる？

社会福祉協議会のボランティアセンターや大学のボランティアサークルなどに相談してみるのはどうかな？相談の仕方や連絡の方法などはお伝えしますよ。
今回は、近隣の大学のボランティアサークルに声をかけてみますね。

大学生ボランティアと連絡を取るのには、どのツールがいいのか。

大学生の連絡ツールは LINE が一般的。必要があれば使い方から伝授しますよ。LINE は 10 代～ 60 代の幅広い世代が使っているツールなので、使えるようにしておくと便利です。

会場によっては、「募金箱の設置はできません」など施設の管理者から言われてしまうことがあります。活動の目的や公共性をしっかりと伝え、理解してもらいましょう。
使用する部屋の中に募金箱を設置し、寄付を募ることはルール上は問題ないことが多いです。